

Interview

profile

よしだ かずき
吉田和喜さん(60歳代)

あかり
明利さん(50歳代)

あおと
碧都くん(保育園年少)

※個人情報保護のため、全員仮名です。

- ・吉田さんご夫婦には、実子なし。養育里親。
- ・碧都くんとは、施設(乳児院)で令和2年11月に顔合わせ後、5カ月間の交流期間を経て、一緒に生活するようになる。
- ・現在、明利さんは会社員、和喜さんは非常勤で勤務。

出会はスムーズに

広報 里親になろうと思ったきっかけを教えてください。

明利 私の職場での研修で、虐待などにより児童養護施設にいる子どもが多いという話を聞き、私にもできることがないかと考えたことがきっかけです。夫に相談し、一緒にフォーラムなどに参加しました。

和喜 結果、やってみようと2人で決意し、児童相談所(児相)の研修・実技を受けました。今まで子育てしたことがなく不安もありましたが、施設実習は日頃できない経験で楽しかったです。無事研修を終え、里親として認定・登録されました。

明利 登録が令和2年の春ごろで、碧都を紹介していただいたのがその年の11月。その間は、楽しみでもあり、私たちに委託(広報係注・児相が保護した子どもを、ふさわしいと判断した里親に養育してもらうこと)があるのか不安でもありました。

広報 出会いはいかがでしたか？

和喜 児相から「こういう子がいるので会ってみませんか」と話があり、施設で顔合わせしました。

明利 夫と相性がいいたいで、不思議なくらいべったり。会う回数を重ねるごとに、さらにそうなりまして。夫は「自分に似てる」と常々言っていて、食べることが大好きなところとか、似ていると私も思います。

和喜 2人とも仕事をしていることが不安材料でしたが、保育園に預けることで解決しました。

子ども中心の生活が楽しい

広報 子育てしてうれしいことは何ですか？

明利 生活が子ども中心になりましたが、むしろそれが楽しく、癒やされています。また、家庭内が明るくなり、夫婦の会話が増えました(笑)。
和喜 碧都が来る前は、休みの日にもどこにも行かないことが多かったのですが、行動的になり、行動範囲も広がりました。

明利 夫は、碧都と一緒に出掛ける体力を維持するため、晩酌や揚げ物を控えるようになったんですよ。

和喜 先の不安はありますが、今まで経験できなかったことができることがうれしい。それと同年代の孫の話についていけるようになりました。
明利 碧都は本当に夫のことが好きで、何でも一緒にのものにしたがります。茶碗や箸、コップなど、夫と同じ大人用のものを使っています。

広報 大変なことはありませんか？

明利 子育てをされている皆さんと一緒に悩みだと思えます。ただ、協力者も多かったので助かりました。



おそろいのコップと箸